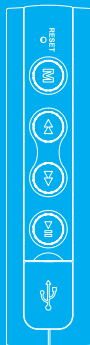
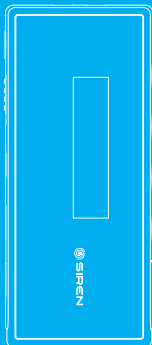




Digital Audio Player

DP150

取扱説明書



最新の取扱説明書は、SIREN の Web サイト [www.sirenjp.com] にアップロードされています。

商標と著作権

- ①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
- ②本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
- ③本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ④当社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。その他、記載されている製品名、ブランド名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

目次

安全上のご注意	iii
絵表示について	iii
安全上のご注意	iv
はじめに	1
ご使用の前に	2
パッケージ内容の確認	2
パソコンを使つての充電	3
各部の名称と動作	4
各部の名称	4
各部の動作	5
画面に表示される情報	6
準備	7
DP150 で音楽を楽しむステップ	7
パソコンとの接続と切り離し	8
接続	8
取り外し	9
CD からの録音方法	11
音楽を聴く	12
音楽を再生する	12
曲をさがす	13

再生中の操作	14
A-B 区間リピート	15
ボイスレコーディング	16
音声を録音する	16
録音したファイルを再生する	17
設定	18
設定を変更する	19
イコライザー	19
再生モード	20
コントラスト	21
バックライトタイマー	21
録音設定	22
オートオフ	23
初期状態に戻す	23
言語設定	24
その他	25
ファイルの削除	25
曲順を変える	26
DP150 の初期化	28
バージョンの確認	31
ファームウェアとは？	32
アップグレードのステップ	32
ファームウェアのアップグレード	34

プレーヤーのリセット	37
ID3 タグ	38

故障かなと思ったら 39

サポート 40


製品サポート総合案内	40
最新情報について	41
サポートセンター	42


安全上のご注意


ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。


絵表示について


この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 ○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

 △記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意

警 告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをご使用の際は、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをご使用の際は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをご使用の際は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●雷が鳴り出したら、ACアダプターをご使用の際は、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから
抜け



水場での使用
禁止



接触禁止

警 告

●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水濡れ禁止

●万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをご使用の際は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから
抜け

●この機器の内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



●この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

●この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注 意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- イヤホンやスピーカー等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。



- 再生する前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、DP150 をスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。
- 自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。



はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品の機能を最大限に利用してあなたの音楽ライフをさらに楽しいものにしてください。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」「取扱説明書」をよくお読みください。

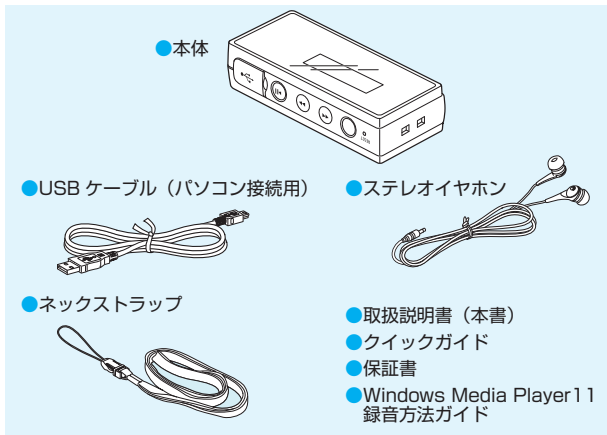
本製品の特長

- ・MP3、WMA（DRM10 対応*¹）および WAV ファイルの再生が可能
 - ・ID3 タグ（ID3 V.1、ID3 V.2 対応）をサポート
 - ・日本語、英語に対応
 - ・内蔵マイク、音声録音
 - ・128 × 32 ドット有機 EL ディスプレイ
 - ・オートパワーセーブ機能
 - ・USB2.0（フルスピード）対応
 - ・6 種類のプリセットイコライザー機能
 - ・内蔵リチウムポリマー充電電池を使用し、約 17 時間の連続再生が可能
 - ・対応 OS：Windows 2000、XP、Vista
 - ・本体の寸法（突起物を含まず）：62.4（W）× 26.8（H）× 15.3（D）mm
 - ・重量：約 24g（内蔵充電電池含む）
 - ・ファームウェアのアップグレード*²
- * 1：Microsoft Windows Technology DRM10 については、DRM10 対応の全ての音楽配信サービスの動作を保証するものではありません。
- * 2：最新のファームウェアは SIREN Web サイト [www.sirenjp.com] からダウンロードしてください。

ご使用の前に

パッケージ内容の確認

重要 ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お買い求めになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。



充電する

重要 お買い求めになられた製品は充電されておりません。お使いになる前に必ず充電を行ってください。

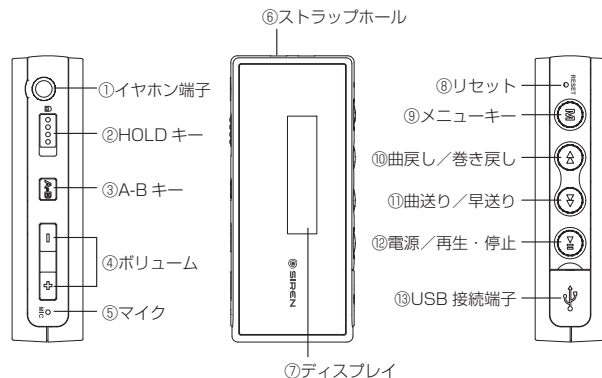
パソコンを使っでの充電

- ① DP150 の接続端子と付属の USB ケーブル (パソコン接続用) を接続します。
- ② 接続した USB ケーブルの USB プラグとパソコンの USB 端子を接続します。
 - * 表示部に が表示されます。
 - * 表示の内部のバーの長さが増加して、充電中を知らせます。
- ③ 表示部の が に変わったことを確かめてください。
 - * になれば充電完了です。フル充電まで約 2 時間かかります。
 - 初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、 になるまで約 5 時間かかる場合があります。
- ④ 各パソコンに適した方法で、DP150 をパソコンから外してください。(→ P.9 ~ P.10)
 - * 表示は一度消え、その後音楽データ再生表示に戻ります。
 - * 充電用 AC アダプターは別売です。

ご利用中、 が点滅を始めたら、バッテリーの残量が少なくなっています。お早めに充電をしてください。「バッテリー残量不足」と表示されたら、バッテリーの残量がほとんどありません。直ぐに充電を行ってください。

各部の名称と動作

各部の名称と動作



①イヤホン端子

イヤホンを接続します。

② HOLD キー

全てのボタンがロックされ、誤操作を防ぎます。

③ A-B キー

- ・ボタンの長押し (2 秒以上押すこと) でボイスレコーディング (録音) が開始します。
- ・音楽・録音データ再生時は区間リピートの設定になります。

④ボリューム

- 「+」音量が大きくなります。
- 「-」音量が小さくなります。

⑤マイク

ボイスレコーディング (録音) の時に使います。

⑥ストラップホール

⑦ディスプレイ (P.6)

⑧リセット

DP150 を強制的に再起動します。正常に動かなくなった場合にのみ使用してください。

⑨メニューキー ([M] キー)

ボタンの長押し (2 秒以上押すこと) でメインメニュー表示になります。

⑩曲戻し／巻き戻し／移動

⑪曲送り／早送り／移動

[曲の再生時]

- ・前のデータ番号の曲に移ります。
- ・ボタンの長押し (2 秒以上押すこと) で再生中の曲の早戻しができます。

[メニューモード表示時]

- ・各設定項目を移動させることができます。

⑫電源／再生・停止

[電源のオン・オフ]

- ・ボタンを押すと、電源オン、ボタンの長押し (2 秒以上押すこと) で電源オフになります。

[曲の再生時]

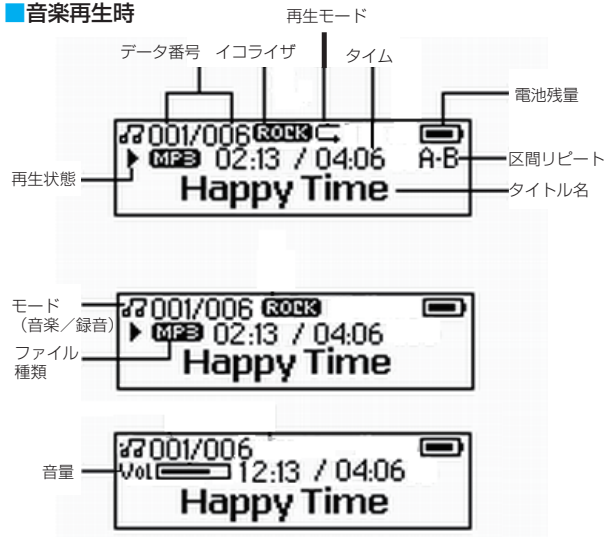
- ・このキーを押すと、曲の再生・一時停止を行います。

⑬ USB ケーブル接続端子

USB ケーブルを接続します。

画面に表示される情報

■音楽再生時



* 再生する曲や設定により、表示されない項目があります。

DP150 で音楽を楽しむステップ

DP150 で音楽を楽しむには下記の順序で準備をします。

①音楽ファイルを準備する

同梱の Windows Media Player11 のクイックガイドをご覧ください。

② DP150 の電源をオンにする

③ DP150 とパソコンを接続する

付属の USB ケーブルで DP150 とパソコンを接続します。画面に「準備完了」と表示されます。(→ P.8)

④音楽ファイルを DP150 に転送する

同梱の Windows Media Player11 のクイックガイドをご覧ください。

⑤ DP150 とパソコンから取り外す

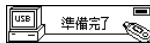
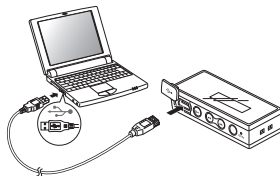
⑥ DP150 の電源をオンにし、音楽を再生する

音楽再生は P.12 をご覧ください。

パソコンとの接続と取り外し

■パソコンとの接続

- ① DP150 の USB 端子カバーを開けます。
- ② パソコンの USB 端子と付属の USB ケーブルを使用して DP150 に接続します。
- ③ USB ケーブルをパソコンに接続します。
- ④ DP150 の表示が次のようになることを確認します。



ヒント▶パソコンのマウスの操作

- ・クリックマウスの左ボタンを押して、はなす操作。
- ・ダブルクリックマウスの左ボタンを 2 回素早く押して、はなす操作。
- ・右クリックマウスの右ボタンを押して、はなす操作。

* USB ケーブルは、パソコン本体の USB ポートに直接接続してください。PC カードにセットする USB アダプタや、パソコンから電源供給される USB ハブなどの周辺機器に接続した場合、電力不足により充電やパソコンとの接続ができないことがあります。

* パソコンがスタンバイモードに移行すると、充電が行われないことがあります。

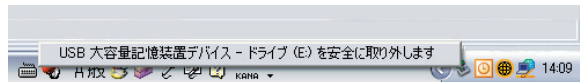
■パソコンからの取り外し

「リムーバブルディスク」として認識する場合

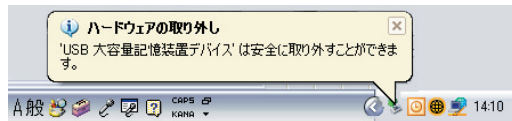
- ① パソコンのタスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。



- ② 「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します」をクリックします。



- ③ 「ハードウェアの取り外し」の×をクリックします。



- ④ DP150 をパソコンから外します。

* パソコンから取り外すと、DP150 は電源が切れた状態になり、再度電源が入ります。

■ パソコンからの取り外し

「ポータブルメディアデバイス」として認識する場合

- ① MTP Player または DP150 と表示されていることを確認します。
* 「ハードウェアの安全な取り外し」の表示は出ません。
- ② 本機とパソコン間でデータのやり取りを行っていないことを確認してから、本機を取り外してください。


重要

DP150 がポータブルメディアデバイスとして認識している場合、「ハードウェアの安全な取り外し」は表示しません。DP150 がパソコンとのデータのやり取りを行っていないことを確認してから取り外してください。


ヒント

パソコンから切り離すと、DP150 は電源が切れた状態になり、再度電源が入ります。

音楽ファイルを準備する

CD からの録音方法

CD から録音する場合、曲をパソコンに音楽データとして取り込み（ダウンロード）、その後にその音楽データを DP150 に転送します。この CD からパソコンへのダウンロードまたはパソコンから DP150 へのダウンロードを行うときは、Windows に付属されている Windows Media Player を使います。

- ① スタートメニューから Windows Media Player のアイコンをクリックします。

* Windows Media Player 11 を起動すると下図の画面が表示されます。



* Windows Media Player 11 の詳しい使い方は、同梱の「CD からの録音方法（Windows Media Player 使用時）」をご覧ください。

音楽を聴く

音楽を再生する



注意

曲を再生する前に、[－] ボタンを押して音量（ボリューム）を、最小にしてください。音量が大きいと、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

①▶II を押し、電源をオンにします。

* ディスプレイに SIREN のロゴが表示され、アップデートを読み込んだ後、再生表示になります。

* ▶II を離してから、SIREN のロゴが表示されるまでに約 2 秒程度かかる場合があります。

②再度、▶II を押し、曲を再生します。

* 再生を一時停止するには、▶II を押します。

③再生を停止するには、▶II を押します。

④電源を切るには、表示が消えるまで▶II を押し、表示が消えたらボタンを離します。

* 「長押しで電源 OFF」が消える前に離すと、元の状態に戻ります。



ヒント

- ・電源を入れ直すと、電源を切る前に使用していた音楽データ再生モードまたは録音データ再生モードになります。
- ・音楽の再生中に電源を切って再度電源を入れた場合は、電源を切った時の音楽トラックの曲の初めの位置になります。（トラックレジューム機能）。

曲をさがす

曲は、ID3 タグ*情報により、アーティスト・アルバム・ジャンル・タイトルにソートされます。ソートの種類別に、曲を検索することができます。

① M キーを長押しします。

メインメニューが表示されます。

②◀または▶▶ ボタンで「音楽再生」を選び、▶II を押します。

③お好きな方法で曲を探します。◀または▶▶ ボタンで選び、▶II を押します。



全曲再生



アーティスト



アルバム



ジャンル



タイトル



すべての曲が再生されます。



アーティスト名→アルバム名→曲のタイトル



アルバム名→曲のタイトル



ジャンル名→曲のタイトル



曲のタイトル

* ID3 タグ

mp3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる文字情報を保存することができます。この ID3 タグを使えば、タイトルやアーティスト名など曲についての情報を mp3 ファイルに保存しておくことができます。（→ P.38）

・タグ情報がないファイルは「Unknown」と表示されます。

再生中の操作

■音量の調整

- [+] を押すと、音量が大きくなります。
- [-] を押すと、音量が小さくなります。

■曲送り／早送り

- [▶▶] を押すと、次の曲に移ります。
- [▶▶] を押し続けると、曲の早送りができます。

■曲戻し／巻き戻し

- [◀◀] を押すと、前の曲に戻ります。
- [◀◀] を押し続けると、曲の巻き戻しができます。

ヒント

- ・曲の早送り、早戻しは、曲の停止中でも行えます。

A-B 区間リピート

指定した区間を繰り返し再生する機能です。

- ①音楽の再生中に (A-B) ボタンを押して、開始点 (A) を指定します。
*ディスプレイには [A-] が表示されます。
- ②もう一度 (A-B) ボタンを押して、終点 (B) を指定します。
*ディスプレイに [A-B] と表示され、設定した区間が繰り返し演奏されます。
*区間リピート演奏を解除するには、A-B キーを押します。

注意

- ・区間リピートは録音データの再生でも使用できます。
- ・区間リピートの設定は、曲間を越えての設定はできません。

ボイスレコーディング

音声を録音する

バッテリーやメモリの空き容量が不足している場合は、録音の途中で自動停止しますので、ご注意ください。

- ① M ボタンを長押しし、メインメニューを表示します。
- ② [ボイス録音] を選択し ▶|| を押すと録音が始まります。

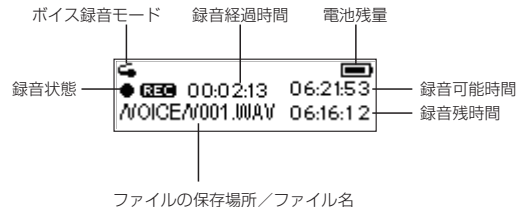


- * 録音を一時停止するには、▶|| を押します。
- * 録音を終了して保存するには、M を押します。

ヒント

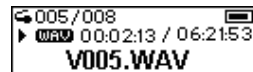
- ・ 録音した音声ファイルは [VOICE] フォルダに保存されます。
- ・ ファイル名は、VXXX.WAV (XXX: 保存番号) という形式になっています。
- ・ 001 から順番にファイルが生成され、フォルダに保存されます。
- ・ [録音設定] により、録音品質を 3 種類の形式、5 段階のサンプリング周波数に設定することができます。録音設定 → P.22

■ボイスレコーディング時の画面表示



録音したファイルを再生する

- ① M ボタンを長押しし、メインメニューを表示します。
- ② [ボイス再生] を選択し ▶|| を押します。
- ③ ◀◀または▶▶ ボタンを押し、再生したい曲を選んで ▶|| を押します。



設定

利用スタイルやお好みに合わせて、各種の設定を変更できます。

✓ 注意

- ・設定メニューは、ファームウェア(プレーヤーの基本ソフト)のバージョンによって異なる場合があります。最新バージョンにアップグレードしてお使いになることをおすすめします。ファームウェアをアップグレードする → P.32
- ・設定メニューは下図の構成となっています。

設定メニューの構成

設定

- イコライザー
- 再生モード
- コントラスト
- バックライトタイマー
- 録音設定
- オートオフ
- 初期状態へ戻す
- 言語設定
- 戻る

設定メニューのアイコン

	イコライザー
	再生モード
	コントラスト
	バックライトタイマー
	録音設定
	オートオフ
	初期設定へ戻す
	言語設定
	戻る

設定を変更する

- ① M ボタンを長押しし、メインメニューを表示します。
- ② ◀◀または▶▶ ボタンを押し、「設定」を選んで▶▶ を押します。



- ③ ◀◀または▶▶ ボタンを押し、設定する項目や値を選びます。
- ④ ▶▶ ボタンを押します。
選んだ項目の詳細な設定を行うことができます。

イコライザー

この機能を設定すると、色々な音質で曲の再生が楽しめます。イコライザーは、あらかじめ設定されている 6 種類のイコライザーから曲や好みにあった設定を選びます。



- ① 「設定」から◀◀または▶▶ ボタンを押し、「イコライザー」を選び、▶▶ を押します。
- ② ◀◀または▶▶ ボタンを押し、任意のイコライザーを選びます。
- ③ ▶▶ を押して、決定します。
イコライザー設定で選べるのはイコライザー設定で選べるのはノーマル / Xbass / ロック / ジャズ / クラシック / ポップです。お聞きになる曲や好みに合わせてお選びください。

再生モード

音楽や録音したデータを再生する時に、色々な再生モードに変更できます。



- ①「設定」から◀または▶ボタンを押し、「再生モード」を選び、▶▶を押します。
- ②◀または▶ボタンを押し、任意の再生モードを選びます。
- ③▶▶を押して、決定します。

ノーマル	選択した曲を1度だけ再生	表示なし
1曲リピート	1曲を繰り返し再生	🔄
全曲リピート	全ての曲を繰り返し再生	🔄
ランダム再生	全ての曲をランダムな順番で再生	S
ランダムリピート	全ての曲をランダムな順番で繰り返し再生	🔄S

*再生中に、任意の区間を繰り返し聴きたい場合は、区間リピート機能をお使いください。(→P.13)

コントラスト

ディスプレイの明るさを設定できます。



- ①「設定」から◀または▶ボタンを押し、「コントラスト」を選び、▶▶を押します。
- ②◀または▶ボタンを押し、コントラストを調整します。
*「Level1」～「Level10」の間から設定します。
- ③▶▶を押して、決定します。

バックライトタイマー

画面のバックライトの点灯継続時間を設定できます。時間を短く設定することにより、バッテリーを節約できます。



- ①「設定」から◀または▶ボタンを押し、「バックライトタイマー」を選び、▶▶を押します。
- ②◀または▶ボタンを押し、点灯継続時間を選びます。
- ③▶▶を押して、決定します。

*「3秒」「5秒」「10秒」「15秒」「常にオン」から設定します。

録音設定

録音するフォーマットやレートを変更することができます。

①「設定」から◀または▶ボタンを押し、「録音設定」を選び、▶▶を押します。

②◀または▶ボタンを押し、録音ファイルの形式を選びます。

* フォーマットは次の3種類から選べます。

	音質	ファイルサイズ	音声録音 など	音楽録音 など	備考
IM ADPCM	○	○	○	△	圧縮
MS ADPCM	○	○	△	○	圧縮
PCM	◎	×	◎	◎	非圧縮

* DP150で録音したファイルをパソコンや他のプレーヤーで再生する場合、その機種が再生できるフォーマットに変換する必要があります。

* 録音されるファイル形式は、WAV形式になります。

③▶▶を押して、決定します。

* サンプリングレートの値が大きいくほど音質はよくなりますが、データも大きくなります。下の表はIM ADPCMで録音した場合の録音時間の目安です。

サンプリングレート	メモリ 1GBにつき録音目安時間
800Hz	約 66 時間
11025Hz	約 50 時間
16000Hz	約 33 時間
22050Hz	約 25 時間
32000Hz	約 17 時間



オートオフ設定

何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動で電源をオフにします。



①「設定」から◀または▶ボタンを押し、「オートオフ」を選び、▶▶を押します。

②◀または▶ボタンを押し、オートオフ時間を選びます。

* 「オフ」「1分」「2分」「5分」「10分」「15分」から設定します。

③▶▶を押して、決定します。



・オートオフ機能は再生中、録音中は作動しません。

初期状態に戻す

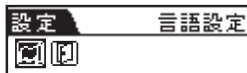
すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。この操作を行っても、保存された音楽ファイルなどのデータは削除されません。



①「設定」から◀または▶ボタンを押し、「初期状態に戻す」を選び、▶▶を押します。

言語設定

メニュー表示などに使用する言語を設定します。



- ①「設定」から◀または▶ボタンを押し、「言語設定」を選び、▶IIを押します。
- ②◀または▶ボタンを押し、表示する言語を選びます。
 - * 「日本語」「English」から設定します。
 - * ファイル名も英語、日本語で表示できます。
- ③ ▶IIを押して、決定します。

ファイルの削除

DP150 中の音楽データや録音データを削除する場合、パソコンへ接続して削除します。(DP150 本体でファイルを削除する機能はついておりません。)一度削除したデータは、復活させることができません。

- ①パソコンと DP150 を接続します。(P.8)
- ②パソコンの OS によって異なるため、ご自分の環境を確認してから③へ進んでください。

Windows 2000 の場合	Windows XP の場合	Windows Vista の場合
デスクトップ画面より「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」(DP150 と思われるアイコン)を選び開きます。	「スタート」→「マイコンピュータ」→「オーディオデバイス」→「DP150」→「メディア」を選び開きます。または、「スタート」→「マイコンピュータ」→「DP150」→「Internal Storage」を選び開きます。	「スタート」→「コンピュータ」→「DP150」→「Internal Storage」を選び開きます。

- ③削除したいフォルダまたは音楽データを選び、右クリックから「削除」を選びます。
- ④確認のメッセージが表示されたら、「はい」を選びます。
 - * データが削除され、画面から消えます。
- ⑤ DP150 をパソコンから取り外します。(→ P.9)

曲順を変える

DP150 の音楽データの再生の順番は、ID3 タグ情報（タイトル名）に基づいています。CD の音楽トラックの順番とおりに再生させるには、ID3 タグ情報の「タイトル名」を Windows Media Player を利用して編集します。

Windows Media Player を使って、音楽 CD から楽曲を録音（取り込み）した後に下記の操作を行います。（同梱の Windows Media Player 録音方法ガイドをご覧ください）

■ Windows Media Player 11 の場合

- ①ライブラリタブをクリックし、取り込んだ楽曲を表示します。
- ②任意のファイルを選択し右クリックから「編集」を選びます。



- ③タイトル名が反転表示したら、タイトル名の先頭に半角数字を入力し、パソコンの「ENTER」を押します。



- *この作業を繰り返し行い、すべてのタイトル名の先頭に半角数字を入れます。
- *入力数字は「01」または「001」というように先頭に「0」をつけます。

- ④入力が完了したら、DP150 とパソコンを接続し、音楽ファイルをプレーヤーへ転送します。（同梱の「CD からの録音方法」 3. 曲をプレーヤーへ転送する をご覧ください）

✓ 注意

- ・再生モードが「全曲再生」の場合、再生する曲順は、ID3 タグ情報にもとづき、DP150 が設定した曲順になります。「アーティスト別」「アルバム別」または任意のファイルを再生したい場合には、メインメニューから「音楽再生」を選択し、各再生モードを選択してください。

DP150 の初期化



注意

DP150 に保存されている全てのデータが消去されます。必要なとき以外は実行しないでください。

■ リムーバブルディスクとして認識している場合

- ① DP150 とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。
- ② 「マイコンピュータ」から表示される「リムーバブルディスク」を選択し、右クリックから「フォーマット」を選択します。

- ③ ファイルシステム「FAT32」であることを確認し、「開始」ボタンをクリックします。

* ファイルシステムを NTFS 形式にしないでください。DP150 が正常に作動しなくなります。

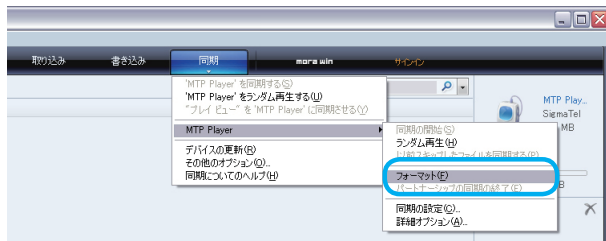
- ④ 初期化が完了したら、DP150 をパソコンから取り外します。
* 初期化が完了するまで DP150 の電源を切らないでください。

- ④ DP150 の電源をオンにします。
* 自動的にデータベースの再構築が実行されます。



■ MTP / データとメディアとして認識している場合

- ① DP150 とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。
- ② Windows Media Player 11 を起動します。
- ③ 「同期」タブをクリックし、「MTP Player」 - 「フォーマット」をクリックします。



- ④ 確認のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
* 初期化が完了するまで DP150 の電源を切らないでください。
- ⑤ 初期化が完了したら、DP150 をパソコンから取り外します。
- ⑥ DP150 の電源をオンにします。
* 自動的にデータベースの再構築が実行されます。

■ MTP / Internal Storage として認識している場合

- ① DP150 とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。
- ②「MTP Player または DP150」を選択し、ダブルクリックします。
 - * 「Internal Storage」のアイコンが表示されます。
- ③「Internal Storage」を選択し、右クリックから「フォーマット」を選択します。
- ④確認のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
 - * 初期化が完了するまで DP150 の電源を切らないでください。
- ⑤初期化が完了したら、DP150 をパソコンから取り外します。
- ⑥DP150 の電源をオンにします。
 - * 自動的にデータベースの再構築が実行されます。

製品情報

DP150 のファームウェア情報、空き容量を表示します。

- ①「設定」から◀◀または▶▶ボタンを押し、「製品情報」を選び、▶▶を押します。
- ② DP150 のメモリの空き容量を表示します。
- ③▶▶ボタンを押すと、ファームウェアのバージョンを表示します。
- ④ M ボタンを押して、メインメニュー画面に戻ります。

ファームウェアアップグレード

ファームウェアとは？

ファームウェアとは、DP150 を動かすための基本ソフトウェアです。
DP150 に新機能を追加したり、使いやすさを向上させるため、ファームウェアアップグレードを提供します。

*提供の時期・内容については、随時ホームページにてお知らせします。

バージョンの確認

お使いの DP150 のファームウェアのバージョンは、メインメニュー → [製品情報] で確認することができます。

アップグレードのステップ

- ①ファームウェア・アップデート用のソフトウェアをホームページからダウンロードします。
- ②ダウンロードしたソフトウェアを解凍します。
- ③ DP150 をリカバリーモードにしてから②で解凍したソフトウェアでファームウェアをアップグレードします。

注意

- ・ファームウェアのアップグレードには、インターネット接続環境が必要です。
- ・ファームウェアをアップグレードする前に、DP150 に入っている重要なファイルは必ずバックアップを行ってください。

①アップデート用ソフトウェアをダウンロードする

- ① SIREN Web サイト [www.sirenjp.com/support/] から、DP150 のファームウェアのアップグレード用のデータをダウンロードします。保存先はデスクトップを指定します。
*ファームウェアのデータは、ファームウェアのデータと DP150 のファームウェアを書き換えるためのプログラム等と一緒に圧縮された状態です。

②ソフトウェアを解凍する

- ①ダウンロードしたデータをダブルクリックして、データの解凍をします。
- ②データの解凍先を確認するメッセージが表示されたら、デスクトップを指定します。
*デスクトップにファームウェアのフォルダが解凍されます。
- ③解凍されたフォルダを開きます。



DP150FIRM123.ex



③ DP150 のファームウェアをアップデートする

リカバリーモードを使ってファームウェアのアップグレードを行います。



注意

ファームウェアの書き込み中は、ケーブルを取り外したり、電源を切ったりしないでください。ファームウェアの書き込みに失敗して DP150 が動作しなくなることがあります。

① DP150 の電源を切ります。

* 「電源が入らない」等の不具合で、完全に電源がオフになっているかどうか分らない場合は、本体の強制リセットを行ってください。(→ P.34)

② 解凍したフォルダー内の「stupdaterapp.exe」をクリックします。



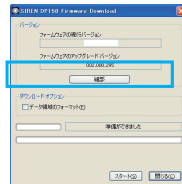
- * ファームウェアの書換えプログラムが起動します。
- * Firmware Download 画面が表示し、書換えを行うバージョンが表示されます。

③ ▶II を押すと同時に、パソコンの USB 端子へ接続してください。

④ そのまま 10 秒以上 ▶II を押してから、▶II を離してください。

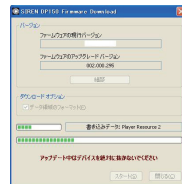
- * リカバリーモードに入ると、ディスプレイは表示されません。ディスプレイが表示が出れば、リカバリーモードには入っていません。再度接続してください。
- * はじめてリカバリーモードでパソコンへ接続した場合、リカバリーデバイスの表示が出ますが、問題はありませんので、そのまま継続（次へ）してください。以降の接続時は表示しません。

⑤ 「データ領域のフォーマット」欄チェックマークを確認し、DP150 内のデータを削除したくない場合は、チェックマークを外します。



* 「データ領域のフォーマット」欄チェックマークを入れると、全てのデータが消去されます。

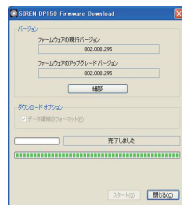
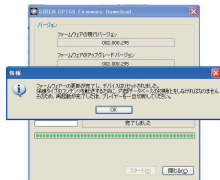
⑥ 「スタート」をクリックするとファームウェアの書き込みがスタートします。



* 書き込み進捗状況は、下段 2 つのバーで確認できます。



- ⑤ファームウェアの書き込みが完了すると、「完了」と「閉じる」ボタンが表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。



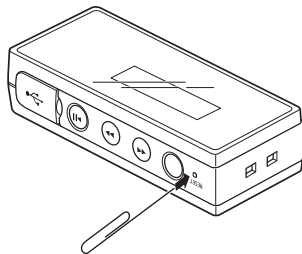
- ⑥全ての作業が終了していることを確認してから、DP150 をパソコンか

プレーヤーのリセット

DP150 を強制的に再起動します。正常に動かなくなった場合にのみ使用してください。

- ①リセットスイッチをゼムクリップなどを利用して押します。

* 電源が切れますので、再度電源を入れてください。



ヒント

- ・リセットを行うと、各種の設定は初期状態に戻ります。
- ・リセットを行っても、音楽データや録音データは消去されません。DP150 をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。(→ P.42)

ID3 タグ

MP3、WMA ファイルにアーティスト、アルバム、タイトル、ジャンルなどの情報を埋め込みます。

■ Windows XP / Vista の場合

① 情報を変更したいファイルを選択し、右クリックから「プロパティ」を選択します。

* プロパティウィンドウが開きます。

② 「概要」タブをクリックし、必要項目を入力し、「適用」ボタンをクリックします。



故障かなと思ったら

状況	解決方法
電源がオンにならない	USB ケーブルでパソコンと接続し、充電してください。 本体底面のリセットボタンを細い形状のもの（ピンなど）で押してください。（→ P.37）
音が聞こえない	本体上面のボリュームボタンを押して、正しい音量に変更してください。 イヤホンがしっかり接続されているか確認してください。
ボタンが操作できない	ホールドスイッチのロックを解除してください。
音楽ファイルの再生中に雑音が出る	市販の端子クリーナーで、イヤホン端子に付着した汚れを清掃してください。 他の音楽ファイルでも同じ雑音が出るか確認してください。特定のファイルだけで雑音が出る場合は、CD から作成し直す、バックアップと入れ替えるなどの対策を試してください。
画面に文字が表示されない。もしくは新しく文字が表示されない	〔設定〕 - 〔言語設定〕で、お使いの言語を選択してください。
ファイルの転送に失敗する	USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 USB ハブを使用している場合は、パソコンの USB 端子に直接接続してください。
WMA ファイルが再生できない	ライセンス情報を DP150 に正しく転送してください。 ライセンス情報は Windows Media Player で確認できます。

製品サポート総合案内

www.sirenjp.com

SIREN の Web サイトには、製品別に Q&A (よくある質問) が用意されています。また、ファームウェア、ソフトウェア、取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DP150」とファームウェアのバージョン
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号 (S/N)
- 再生した音楽ファイルのデータ形式 (WMA、MP3)
- 音楽ファイルを作成する際に使用したソフトウェアの名 (RealOne、WMP など)
- 具体的なお問い合わせの内容
行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。
また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。
- パソコンのメーカー名、機種名
(自作パソコンの場合は、マザーボードおよび CPU の名前)
- OS の種類とバージョン

製品の修理／交換について

製品の修理／交換の受付先はサポートセンターです。製品に不具合が発生し、修理が必要と思われる場合は、ご購入店へ製品をお持ちにならずに、まずサポートセンターへお問い合わせください。不具合の内容によっては、修理をしなくとも解決できる場合がございます。


■修理・交換の手順

- ①お客様からサポートセンターへ直接お問い合わせください。
- ②サポートセンター担当者が修理または交換の必要性を判断します。
- ③修理または交換が必要な場合、サポートセンターから返送整理番号 (RMA 番号) と製品の返送方法をお客様にご案内します。
- ④製品を弊社指定先へ返送整理番号 (RMA 番号) を記載してご返送ください。
- ⑤弊社にて製品を受領後、修理または交換を行い、お客様へ発送いたします。

【重要】

修理依頼を受けました製品の内部のデータについては、一切保証致しませんので、ご了承ください。

サポートセンターからご案内する返送整理番号 (RMA 番号) の無い返品品はお受け取りすることができません。製品を返送する前に必ずサポートセンターへお問い合わせ下さるようお願い致します。弊社指定先への返送時の送料はお客様のご負担となります。修理品または交換品の発送時の送料は、弊社が負担いたします。製品の修理または交換の時には、製品保証書と購入日の証明できるものが必要となります。ご購入の際に販売店で、製品保証書に販売日・販売店印を記入、捺印していただくかそれらが記入されたシール等をもらって下さい。購入の際のレシート、領収書、通信販売の場合は製品の送り状等も購入日の証明となります。製品保証書と購入日の証明が無い場合には、保証期間内でも有償修理となる場合があります。詳しくは保証規定をご参照ください。

サイレン サポートセンター  0570-001-606	
受付時間:月～金(祝祭日・年末年始を除く) 9:30～21:30 ホームページアドレス: http://www.sirenjp.com	E-mailでのお問い合わせは ホームページのメールフォームをご利用ください
誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。	

